

令和6年度 岐阜県林政部優良工事施工者表彰



【林政部長表彰 表彰式】 令和6年9月4日（水）10:00～11:00 岐阜県庁20階清流ロビー
（左から順に、天龍建設（株）、（株）立保、林政部長、馬瀬建設（株））

■林政部長表彰 3件

受賞者	天龍建設（株）
表彰対象工事	岐治第 0408 号 公共災害関連緊急治山事業鶯谷 [岐阜市]
表彰事由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転石破碎時の騒音による学校への影響を防止するため「防音シート」を設置し、騒音測定機により騒音レベルを現場や学校周辺で確認しながら工事を実施した。電気式削岩機を使用し騒音の低減に努めた。現場は岐阜市「柏森公園」内にあり、公園の利用者への影響や、金華山ドライブウェイの汚損を防止するため、小割した石をモノレールで場外に搬出する際に、トンバックに詰め込むことで効率良く搬出を行った。 ・ 金華山ドライブウェイ駐車場の一部を借用し、現場ハウスや工事看板を設置した際に「造花プランター」と「一輪挿し造花」を飾り付け、工事のイメージアップを図った。 ・ モノレール起終点に足場を設置することにより、工事による土地の改変を最小限にとどめ、植物の踏み荒らし防止を図った。
完成写真	

受賞者	(株) 立保
表彰対象工事	可林工第 0402 号 公共林道開設工事（尾城山 2 - 1 工区） [加茂郡東白川村]
表彰事由	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドローン測量で得た点群データを元に、3次元設計データを作成、マシンコントロールにより施工し、切丁張の設置を省略した。 ・ 現況測量において、機器の操作とプリズムを測点に立てる作業を一人で同時に行える杭ナビ機器を使用し、省力化を図った。 ・ 山間地での工事における地域への貢献について、視点を変えて、近隣の教育施設等の清掃等を行った。 ・ 熱中症対策として、現場に 暑さ指数測定器を設置し、クールミスト等を常備し従業員の職場環境の安全性を高めた。 ・ ダンプトラックが荷台を下げないで公道に出ることを防止するために現場出入口に高さ確認ゲートを設置した。
完成写真	

受賞者	馬瀬建設（株）
表彰対象工事	下治第 0406 号 公共予防治山事業大ザコ外 2 地区工事 [下呂市]
<p>表彰事由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難克服 ・ 創意工夫 ・ 安全向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常に急峻な地形（岩接着最大斜度 110 度、地山補強最大斜度 80.65 度）での作業となる中、豊富な経験を有する施工体制を構築し、万一の際の安全確保のため消防署等関係機関との打合を実施した。 ・ 施工箇所、作業内容に応じたライフラインの確実な使用（フルハーネス完全着用、セーフティーロック、親綱 2 点取り）を行った。 ・ 働き方改革の取り組みとして、新たに建設ディレクターの資格取得、養成を行い、現場の書類等の作成支援を行った。 ・ 管理基準が明確に定められていない工種について、安定計算上の仮定及び現地状況等を踏まえて、経験則だけでなく工学的な技術的判断を取り込んで管理値や試験値を定めた。 ・ モノレール経路への落石対策ネットや各種注意喚起看板を設置したほか、モノレール発着場への昇降設備を設置した。
完成写真	

林事務所長表彰 10件

受賞者	表彰対象工事	表彰事由	表彰日等
(株) 桐山組	西治第 0409 号 復旧治山事業湯口地区 工事	<ul style="list-style-type: none"> ・勾配が約 10%の狭隘な砂利道を資材搬入路として使用する必要がある現場において、ダンプトラック等のトラフィカビリティの確保と、敷砂利の田畑等への飛散防止のため敷鉄板を敷設した。 ・施工地は谷出口の扇頂部で常時の流水は伏流し、現場水位等の把握が出来ず土石流発生の予見が難しいため、雨量計を設置し雨量を常に把握した。 ・工事着手前に上流の溪流状況を調査し、危険箇所を把握するとともに、関係者に安全教育と避難訓練を実施した。 ・着手前、及び月末に工事の作業内容、今後の工事予定を明記した「お知らせ」を作成し、地元自治会に回覧した。 ・立木伐採など森林への負荷が懸念されたことから、業者からの提案で登坂能力の優れた機械を導入することでルートを最小限とし、立木伐採などの範囲を最小限にした。 	9月20日(金) 14:00～ 西濃総合庁舎5階 5-1会議室
(株) 久保田工務店	揖治第 0415 号 復旧治山事業(補正 箴掛) 工事	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の出来形、品質管理及び完成書類の作業効率をあげるため、施工管理ソフトを活用した。 ・生コンクリートの品質管理について、供試体のすり替えや改ざん及び追加筆による不正を防ぐため、供試体作成時にQC版(供試体確認版)を使用した。 ・接触事故の防止のため、運転手自らが内部のモニターで確認できるよう、バックホウ運転手の死角となる箇所に人感センサーを取り付けた。 ・施工時期が夏季であったことから、落雷防止に携帯用雷雲距離計を常備し、落雷事故の防止に努めた。 ・道の駅において、地域が主催するイベントに従業員として参加し、地元地域を盛り上げることが出来た。 	9月6日(金) 10:00～ 揖斐総合庁舎5階 大会議室

受賞者	表彰対象工事	表彰事由	表彰日等
揖斐昭和建設（株）	揖治第 0414 号 復旧治山事業（補正 下山）工事	<ul style="list-style-type: none"> ・重機搬入路について、土石流が発生した場合の避難のし易さや経費を考慮し、受注者からの提案により大型土のうで坂路を設置した。 ・冬季のコンクリート打設であったことから、型枠の外部と内部の温度変化を保つため、養生に練炭を使用して一定の温度で硬化するよう温度計で常に確認しながら施工した。 ・コンクリート打設の際、気泡を抜くために型枠表面に「ピカコン」を使用し、コンクリート密度を高め、ひび割れのない構造物を構築した。 ・供試体作成時にQC版（供試体確認版）を使用したことにより、当現場のものであることを証明する工夫をした。 ・排土工で掘削土砂をダンプに積み込む際、吊荷の重量を確認できるクレーン使用の重機を使用し、過積載防止に努めた。 	9月6日（金） 10:00～ 揖斐総合庁舎5階 大会議室
（株）長屋組	中治第 0405 号 復旧治山工事真寄勢	<ul style="list-style-type: none"> ・集水区域が広く降雨時の水量が多いため、床堀の掘削面が崩壊しないように現地発生石材を壁材として利用し掘削面を保護した。 ・下流の板取川への影響を考慮し、コンクリート打設面清掃によるアルカリ性汚水の流出防止として、薬剤処理による打設面処理工法による対策を行った。 ・資材運搬路の新設にある横断排水溝について、工事完了後の森林整備での使用を考慮し、車両がスムーズ走行できるよう、道路勾配に合わせて設置できるNETIS登録製品を使用した。 ・掘削面を石積で保護し降雨等による拡大崩壊を防止したことにより、必要最小限の掘削範囲で施工した。 	9月4日（水） 13:30～ 中濃総合庁舎4階 中濃農林事務所 所長室

受賞者	表彰対象工事	表彰事由	表彰日等
木島建設（資）	郡治第 0506 号 復旧治山事業獅子穴谷地区 工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人家に近接した現場で、騒音対策として、廻水ポンプの電源に発動発電機を使用せず、仮設電力を引き込みにより実施した。 ・ 仮設道の土砂流出防止対策として、暗渠排水パイプ及び路面排水溝を設置し、さらに地盤改良材により表層の安定化を図り、豪雨時における工事中の災害防止に努めた。 ・ 南海トラフ地震を想定した施工現場での避難訓練を実施するとともに、消防署職員による AED を使用した救急救命講習会を行い、有事における問題点、対処法について作業員で共有した。 ・ 現場周辺の道路の草刈り及び水路の土砂撤去を実施し地域に貢献した。 ・ 高校生のインターシップの受入れ、現場作業体験を通して積極的な人材確保・育成に努めた。 	9月12日（木） 15：00～ 郡上総合庁舎4階 4南会議室
(株)名畑組	郡林第 0401 号 地方創生道整備推進交付金 事業林道大谷～大栃線（2 工区）開設工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上水道と農業用水が埋設されている現場において、構造物の施工にあたり、試掘を行うとともに、掘削影響箇所については仮設管により廻水し、施工中の事故防止に努めた。 ・ 擁壁工や排水工等の施工時に発生した濁水を、濁り抑制タンクにより泥と分離したのち、河川へ放水し、河川環境の保護に努めた。 ・ 間伐材を搬出するための仮設迂回路を大型土嚢及び盛土により設置した際、仮設路に車両の誘導及び逸脱防止のためのオレンジネット等を設置し、通行者の安全確保に努めた。 ・ 日常的に使用されている既設林道の改修工事であるため、通行止め期間や工事の施工状況などを回覧版で共有し、地域とのコミュニケーションを図った。 	9月12日（木） 15：00～ 郡上総合庁舎4階 4南会議室

受賞者	表彰対象工事	表彰事由	表彰日等
(株) 柴田土木	東治工第 0404 号 公共復旧治山事業西山地区 工事 (ゼロ国)	<ul style="list-style-type: none"> ・急峻な地形での施工において、現場条件の把握を良く行い、臨機に仮設落石防護柵を設置するなど、作業時の安全確保を図った。 ・工事契約後に発生した山腹斜面の崩壊によって既存道路が被災し、新たに仮設の進入経路を設置する必要が生じたが、積極的に地元関係者との調整を行い、代替えのルートを確保した。 ・現場条件の照査や施工管理において、ICT機器の活用に積極的に取り組み、独自に3D施工データを作成して現場照査を行うなど、現場作業の省力化を図った。 ・地元中学生を対象とした職場体験学習を行って、建設業や治山事業の特色などについて説明を行い、将来の担い手確保に取り組んだ。 ・山ズリを路盤に敷設することで降雨による侵食を防止するとともに、車両のスリップ防止を図り、施工の安全を確保しながら進入路を開設する延長を短縮し、森林への影響を抑制した。 	9月9日 (月) 11:00～ 東濃西部総合庁舎 4階 4北会議室
恵中建設 (株)	恵治工第 0422 号 公共復旧治山事業 (補正) 保 古山地区工事	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート打設養生時に保水機能の高い保温・湿潤養生マットの使用や脱枠後に塗布型収縮低減剤の使用により、ひび割れの発生を防止した。 ・仮設足場入口へのセンサー式音声標識の設置や横断幕の設置により、作業員の安全意識の向上を図った。 ・操縦席で四方バックモニターや人検知センサーを確認できる人検知衝突軽減システム搭載の重機を使用し、接触事故等を防いだ。 ・完成予想図を掲載した大型看板を県道に面した現場入口に設置することにより、道路通行者への周知とイメージアップにつなげた。 ・高校生のインターンシップを受け入れ、県産材型枠の加工や工具の作業体験を行い、地元高校との連携や建設業のイメージアップ、担い手の育成に貢献した。 	9月18日 (水) 10:00～ 恵那総合庁舎 4階 4A会議室

受賞者	表彰対象工事	表彰事由	表彰日等
乙姫建設（株）	恵治工第 0402 号 公共復旧治山事業赤苗木地区 工事	<ul style="list-style-type: none"> ・工事着手時に地域住民へ工事全体の概要を周知するとともに、施工により生じる濁水が農業に影響がないよう、利水者と施工時期の調整を行うとともに、独自で農業用水専用パイプを設置し、利水者への配慮に努めた。 ・コンクリート圧縮強度試験に使用する供試体の作成について、「供試体確認版（QC 版）」を使用することで工事現場と試験時が同じ供試体であることを証明し、厳格な品質管理に努めた。 ・当現場への唯一の進入路である林道に路肩崩壊が生じていたため、より安全な走行を確保するため、施工業者は市と協議を行い、独自で 路肩復旧、路面整正を行った。 ・農業用水管理道路である市道沿いの草刈りを行い、一般車両の安全確保に貢献した。 ・「ぎふロードプレーヤー」など、地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 	9月18日（水） 10:00～ 恵那総合庁舎 4 階 4 A会議室
坂本土木（株）	飛治第 0508 号 公共復旧治山工事（湯ノ平 2）	<ul style="list-style-type: none"> ・不測の事態に備えて運搬経路を確保するため、仮設橋の構造をトラス式にして、洪水時の安全を確保した。 ・監督員の勤務時間の短縮や安全への配慮のため、現場確認をリモートで行うシステムを採用した。 ・急斜面にある作業板台間の移動に用いる作業路、下方への昇降路を設置し安全を確保した。 ・24時間対応の監視カメラを設置し、リアルタイムで安全確認を実施した。 ・自ら参加者を募り、現場見学会を開催し建設業の魅力を発信した。 	9月12日（木） 13:30～ 飛騨総合庁舎 2 階 特別会議室